

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北陸)	良く なっている	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・今年4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要及び降雪の少ない天候がプラス要因となり、前年同月の1.6倍の受注があり、好調な傾向にある。
		百貨店(営業担当)	お客様の様子	・今月は、非常に積雪量が少ないことに伴い、来客数が増加した。なお、今月の状況を一言で述べると、キッチン家電、羽毛布団、体圧分散機能を備えたコンディショニングマットレスなどの日常的にはほとんど必要ではないが、これまで関心が高かった商材における動きが非常に良くなっているように感じている。
	やや良く なっている	百貨店(営業担当)	お客様の様子	・クリアランスセール開始日の初売りとともに客の購買意欲については上昇傾向にあったが、年始の休暇明け以降は客足が鈍った。また、近隣の大型ショッピングビルなどにおけるセールの再値下げ時期が早かったことが起因して、再値下げの声を待つ客が多く感じられた。ただし、今年4月の消費税率引上げを見越して、コートを含む衣料品などの商材を買い増す客が増加したことから、全体としては3か月前よりやや良くなっていると認識している。
		スーパー(総務担当)	お客様の様子	・前年の12月末から今年の年始までの間において、長期休暇を取得した客が多数であったことや、大雪ではなく天候に恵まれたこともあり、今月の来客数については、前年同月を上回った。なお、福袋や年賀ギフトの売行きについても好調傾向にあり、客の財布のひもが緩んでいるように感じた。
		家電量販店(店長)	販売量の動き	・新築や改築などに伴う大口の商談が確定傾向にあり、3か月前の状況よりやや良くなっている。
		家電量販店(店長)	単価の動き	・今月の売上状況については、パソコンは今年4月に代表的なOSの旧バージョンのサポートが終了することに起因して、また、冷蔵庫や洗濯機などの生活家電については消費税率引上げ前の買換え需要に伴い、増加傾向にある。なお、クリーナーにおいては、掃除用ロボットや充電式スティックタイプなどの用途別による複数台の購入が増加していることから好調な傾向にある。
		乗用車販売店(役員)	お客様の様子	・今年4月の消費税率の引上げを考慮し、イベントなどへの来客数は増加傾向にある。なお、現在においては、先手必勝により受注の獲得に向けて、商戦の激化は必至な状況にある。
		乗用車販売店(経理担当)	販売量の動き	・1月の販売量は、前年同月比140%であった。なお、前年10月の販売量は前年同月比111%であったことから、3か月前と比較すると、やや良くなっている。ただし、消費税率引上げ前の駆け込み需要も一因であると考えていることから、多少割り引いて考える必要があると認識している。
		観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・1月は来客数が前年同月比130%であった。
		都市型ホテル(スタッフ)	販売量の動き	・宿泊部門、レストラン部門及び宴会部門のすべての部門において、売上については前年同月比増加傾向にあり、順調に推移している。
		旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・アベノミクス効果により、今月の状況については、全体としては3か月前の状況よりやや良くなっている。ただし、今年4月の消費税率引上げ後における経済の安定が必須であると考えている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・正月に降雪が無く天候も悪くなかったことから、初詣で、あいさつ回り及び新年会などの人出があったことに伴い客が増加した。
		通信会社(店舗統括)	単価の動き	・客のニーズに合致すれば、高額商材においても販売につながっている。
		競輪場(職員)	販売量の動き	・前年同月の売上平均額より、約3%増加した。
変わらない	商店街(代表者)	来客数の動き	・来客数の動きをみている限りにおいては、好転の兆しが見受けられていない。	
	商店街(代表者)	来客数の動き	・以前にも増して、天気の状態により、日々の人出が異なる状況下にあった。なお、今月の来客数については、前年同月と比較すると、全体としては減少傾向にあると感じているが、3か月前の状況とほとんど変わっていない。	

一般小売店〔精肉〕（店長）	来客数の動き	・来客数が増加傾向にあり、また、客単価についても上昇傾向にある。なお、全体としては、3か月前とほとんど変わらない状況下にある。
一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	お客様の様子	・和食の世界無形文化遺産登録の影響に伴い、都市部を始めとして当地を訪れる観光客が前年同月より多少増加しているとの声が聞かれた。なお、全体としては、3か月前の状況とほとんど変わらず良い状況にある。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・宝飾や時計などの限定的な商品ではあるが、今年4月の消費税率引上げ前の駆け込み需要が出てきている。ただし、冬物のクリアランスセールについては、天候要因もあり、多少動きが悪い状況下にある。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。
スーパー（店長）	単価の動き	・今月の買上単価の状況を見ると、客の買物動向に変化は無く、生鮮食品などの必需品を中心に購入しているように見受けられる。また、今年は暖冬であることなどから、冬商材における買上単価の上昇についても、期待できない状況が続いている。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・当社が販売している食品や日用品などの商材はいずれも低単価であるため、今年4月の消費税率引上げを見込んだ駆け込み需要は全くみられない状況下にある。
スーパー（店舗管理）	販売量の動き	・来客数の増減については、企業間競争による結果であると考えている。なお、今月については3か月前より、買上数量の増加に伴い客単価が上昇していることを踏まえると、業況は良い状態が継続していると判断している。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数については、前年同月を下回る状況が続いている。なお、ひきたてコーヒーなどは好調に推移しているが、それに伴い缶コーヒーの購入が減少傾向にある。また、目的外の客が増加傾向にあるように考えている。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・当店の売上状況については、前年同月と比較すると、6か月前において近隣への競合店のオープン時に落ち込みが発生し、前月に引き続き今月においても多少回復したが100%までには回復していない状況下にある。
コンビニ（店長）	それ以外	・今月の売上については、2～3年前と比較すると約10%下回っているが、ようやく前年同月を下回らない状況となった。その理由については、売上の増加傾向に起因したのではなく、前年同月を下回る状況が発生してから丸1年が経過したことに伴い、売上が下げ止まったことによるものと考えている。なお、今後の売上については、現状以上の悪化は競合店の出店などの外的要因が無いと想定し難いが、改善する兆しや明確な見込みは今のところは無さそうである。
コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・例年と比べて天候に恵まれていたこともあり、前年同月を上回る来客数を期待していたが、ほぼ横ばい状況となった。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・円安などに伴い、食料品、ガソリン、灯油などが値上がりしていることから、愚痴を言っている人が大変多い。ただし、店舗の売上や客の雰囲気については、3か月前の状況と特に変化がみられていない。
衣料品専門店（総括）	販売量の動き	・都市部の百貨店などにおいては来客数が増加傾向にあり、また、景気が上昇傾向にあることを耳にする。が、当社の主要商材であるカジュアル衣料品については同様の傾向はみられず、売上については前年同月比と比較すると多少減少傾向が継続している状況下にある。
自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・初売りの状況については、前年同月より来客数は減少傾向にあった。また、冬季商材の動きは天候要因などに伴い鈍化傾向にあり、車の販売状況についても新車の需要はあるが中古車への問い合わせが少ない状況下にある。なお、全体としては、3か月前の状況とほとんど変わっていない。

住関連専門店 (店長)	お客様の様子	・今年4月の消費税率引上げに伴う新築の増加による駆け込み需要は発生しているが、当該要因以外における需要についてはまだ少ないことから、景気が回復しているとは言い難い。全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。	
その他専門店 [ガソリンスタンド](経営者)	販売量の動き	・エコカーや軽自動車が増加傾向にあることなどに伴い、ガソリンの販売量は減少している。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。	
その他専門店 [医薬品](総務担当)	来客数の動き	・ノロウイルス発生のニュースが流れてから、除菌関連商材の動きが活発になっているが、風邪関連商材の売上については前年12月に引き続き前年同月を下回っている。また、健康食品やダイエット関連商材については風邪関連商材と同様の傾向にある。一方、化粧品に関しては、美白系商材が問題となった大手国内化粧品メーカーの売上の減少傾向が顕著な状況にあるが、全体としては前年同月並みで推移している。なお、来客数及び客単価ともに、前年同月並みで推移していることから、今月は全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。	
その他小売 [ショッピングセンター](統括)	販売量の動き	・初売り及び冬物のクリアランスセールの来客数は順調であり、客単価についても前年同月より多少上昇傾向にあった。ただし、買上点数については前年同月を下回っており、必需品以外の支出についてはまだ厳しい状況が継続していると感じている。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。	
一般レストラン (統括)	競争相手の様子	・外食店舗においては景気が良いように感じるが、スーパーなどの量販店向けの商材については動きがやや伸び悩んでおり、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。	
観光型旅館(スタッフ)	来客数の動き	・総売上は前年同月比108%、宿泊人数は同106%、宿泊単価は同107%となった。毎年開催されていた大口の忘年会は実施されなかったが個人客による募集型企画旅行が当該忘年会の穴を埋めたこと及び、14名以下の個人客が15名以上の団体客の人数を上回ったことに起因するものと考えている。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。	
都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・1月の売上については、天候が悪くなかったことなどから、宿泊部門、宴会部門及びレストラン部門ともに前年同月を上回った。なお、全体としては3か月前とほとんど変わらない状況にある。ただし、2月の予約状況を見ると、現時点においては前年同月より悪化傾向にあることから、一進一退の状況により先行きが見通せない状況下にある。また、今年4月の消費税率引上げの影響に伴い、今後外食を抑制する個人客が増加すると想定している。	
通信会社(職員)	お客様の様子	・情報通信業界全体における競争激化状況に変化は無く、解約及び新規の契約ともに一進一退の状況下にある。	
テーマパーク (職員)	来客数の動き	・来客数については、前年同月と比較すると、3か月前から今月にかけてほぼ横ばいの水準にある。なお、内訳をみると、国内の団体旅行者や個人旅行者については多少減少傾向にあるが、海外旅行者が増加傾向にあることから、全体としては前年同月並みの水準を維持している。	
その他レジャー施設(職員)	お客様の様子	・子供から大人まで様々な層における入会者数が前年同月を上回った。なお、全体としては、3か月前とほとんど変わらない状況下にある。	
美容室(経営者)	来客数の動き	・前年の夏以降、美容業界においては来客数が前年同月を下回る月が増加している状況にある。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。	
やや悪くなっている	一般小売店[書籍](従業員)	販売量の動き	・年明けより、消費者による購入への動きが厳しく感じている。
	百貨店(営業担当)	お客様の様子	・商材の売上については、宝飾、時計及び高級既製服などの富裕層をターゲットとしたものにおいて、今年4月の消費税率引上げ前の駆け込み需要により好調に推移しているが、低単価の婦人服、洋服、生活用品及び生活必需品においては低迷している。なお、全体としては、売上状況は3か月前よりやや悪くなっている。

スーパー（統括）	単価の動き	・今月の当地の天候は前年同月と比較して良い状況にあることから、来客数については安定した状況にある。ただし、1人当たりの買上点数については、青果における相場高は落ち着いたものの増加傾向にはなく、前年同月と比較すると0.1点程度減少傾向にある。なお、全体の売上状況をみると、前年同月よりやや悪くなっている。	
衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・暖冬の影響に伴い、地域全体における冬物のクリアランスセールを開始時期が前年より早まったため、1月からセールを開始した店舗の売上については限定的なものとなり、前年同月より多少減少傾向にある。	
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・今年の正月については、天候は良かったが衣料品の動きは悪かった。なお、客の意識が単価の高い商材に向かっているとの報道を耳にするが、実際には単価の低い商材が売れている状況下にある。全体としては3か月前の状況よりやや悪くなっている。	
その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・今年4月に消費税率の引上げが実施されるが、当店のような商売においては駆け込み需要とは無関係な状況にある。なお、客の財布のひもは固い状況にあり、商材がほとんど動いていないことから、3か月前より景気がやや悪くなっていると感じている。	
高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・売上状況は、鉄板焼部門においては前年同月比105%超えを20か月以上続けており好調傾向にある。一方、和食部門の状況については昼及び夜ともに例年の約95%の来客数で推移しているが、年明けとともに大幅に減少傾向にある。なお、全体としては3か月前の状況よりやや悪くなっている。	
一般レストラン（店長）	来客数の動き	・今年に入ってから、人の動きが極端に悪くなっている。	
旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・前年同月と比較すると、来客数の減少傾向を始めとして、客単価及び販売額についても低下傾向にあった。少なくとも、不要不急の旅行へ向かう消費マインドが全くみえない状況下にある。	
タクシー運転手	販売量の動き	・今月は降雪が少なく良い天気が続いたことから、営業目的による利用を始めとして、タクシー利用客が大幅に減少傾向にあった。	
通信会社（役員）	販売量の動き	・年末年始において、新築住宅への入居に伴う新規加入は一定数発生したが、大手通信事業者との厳しい競争のなかにおいて、一般住宅における当該加入については減少傾向にあった。なお、全体としては、3か月前の状況よりやや悪くなっていると認識している。	
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・商材の在庫不足問題が解消されたことに伴い販売環境は整ったが、全体的に販売量が減少傾向にある。	
住宅販売会社（従業員）	それ以外	・協力業者や職人不足が深刻化してきていることから、3か月前の状況よりやや悪くなっている。今後の状況については受注があっても対応不可能な状況に陥る懸念を想定している。	
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・現行の消費税率が適用される請負工事契約の締結時期の9月末の終了から4か月がたち、また、年明けであることから、新規の客の動きを期待していたが、3か月前と比べて新築案件が半減している。また、リフォーム案件についても3月完工が困難になってきていることに伴い、当該税率が8%を適用されるようになることから、契約額は前年同月の50%強止まりの状況にある。	
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・今年4月の消費税率引上げを控え、客による買い控えの様子が感じられる。	
悪くなっている	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・前年末より、天候などの要因に伴い、新車及び中古車ともに売上が減少傾向にある。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・売上については、前年同月とほとんど変化が無いが、やや減少傾向にあるように感じる。また、当店の周辺は人通りが少ないように感じているが、駅前周辺の居酒屋においては若い年齢層の客でにぎわっているとの声を聞いている。なお、客との会話から、以前と同様に、業種における景気の差が発生していると考えられる。全体としては、3か月前の状況より悪くなっている。

		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・現行の消費税率が適用される請負工事契約の締結時期が9月末で終了したことに伴う駆け込み受注の反動により、客の動きが止まっている。全体としては3か月前の状況より悪くなっている。
企業 動向 関連 (北陸)	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		食料品製造業 (役員)	受注量や販売量の動き	・前年の秋以降、商品全般の販売量が前年同月比105%となっている。なお、全体としては3か月前の状況よりやや良くなっている。
		繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注数量については、輸出関連のスポーツ素材及び車両関係資材の増加に伴い、前年同月を上回る状況下にある。なお、全体としては3か月前の状況よりやや良くなっている。
		繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・今年1～3月における非衣料分野の受注状況については、安定的に推移している。また、衣料分野の当該状況は、今月については前年同月を上回っており、今年2～3月についても、今月と同様の傾向を想定している。
		プラスチック製品製造業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・今年4月の消費税率引上げ前の駆け込み需要が佳境に入ってきており、売上は順調に増加している。
		一般機械器具製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・北米地域及び欧州地域からの受注量が増加傾向にあり、また、国内における引き合いについても同様の傾向にあることから、近年になく受注残が発生している状況にある。
		精密機械器具製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・特に、国内向けの高価格帯商材の店頭における販売数については依然として好調であり、また、取扱店舗数についても増加傾向にある。
		建設業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・まだ一部に低価格の受注を行う業者が見受けられるが、業界全体の施工能力に余力が無いことにより過度な受注競争が減少してきており、業況全体はやや良くなっている。
		通信業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・今年4月の消費税率引上げの影響に伴い駆け込み需要が発生しており、事業所用の情報機器の販売が好調な状況にある。
		金融業(融資担当)	取引先の様子	・取引先においては、今年4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要により、販売数量が増加傾向にある。なお、いまだにコストの上昇による販売価格への転嫁は小幅にとどまり苦しい状況下にあるが、販売数量の増加により、収益が多少改善してきている。
		金融業(融資担当)	取引先の様子	・百貨店における初売りについては、売上及び人出ともに前年同月より明らかに増加している。また、飲食店への来客数や繁華街における年末年始の人出については、直近の数か月の状況よりにぎやかな状況にある。
変わらない		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・前年の11～12月においては年末工期の完成に向けて多忙であったが、今月は近年にはなく少ない降雪量であることから、除雪作業へはほとんど出勤していない状況下にある。今月は少ない手持ち案件工事を繰り返すことことが中心であることから、景気の変化は感じられていない。
		輸送業(配車担当)	取引先の様子	・今月に入ってから、今年4月の消費税率引上げに伴う物量の増加傾向が多少緩慢になってきているように感じているが、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。
		輸送業(配車担当)	受注価格や販売価格の動き	・3か月前の状況と比較すると、売上についてはほとんど変化が無く、また、利益面においても軽油価格の高止まりにより利益を出しにくい状況が継続している。
		司法書士	取引先の様子	・事業に関する依頼案件については、新規事業関連は無く、集約化や効率化の関連業務が多数であった。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。

	やや悪くなっている	税理士（所長）	受注価格や販売価格の動き	・大手製造業の下請会社からは、当該大手企業により提示される価格に変化がみられていないとの声が聞かれた。また、円安に伴い、中小企業においては、輸入原材料価格が上昇しており、当該為替状況に伴う輸出に対するメリットはほとんど享受できていないように見受けられる。また、販売業においては、給料が上昇していないことなどから、売上に増加傾向がみられていない。
	悪くなっている	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者より、今は不動産物件の購入者がほとんど存在しないという話がよく聞かれたことから、3か月前の状況よりやや悪くなっていると認識している。
雇用 関連 (北陸)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月より増加した。なお、新規求人数のうち、製造業は前月に引き続き、前年同月より増加した。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・減少傾向にあった求人数が、今月は多少増加傾向に転じている。
	変わらない	人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・派遣需要件数は多少増加傾向にあるが、求められるレベルに達していないことから即戦力とはなり得ない人材が多数であるため、マッチング件数が少ない状況にある。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・人材の不足感は慢性的な傾向になっており、状況の変化はしばらくは困難であると考えている。
		求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数については、3か月前とほとんど変わらない状況下にある。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・今月は有効求人倍率が1倍を超えていることもあり、求人広告を出しても反応が無いケースが見受けられた。なお、求職者の動きが鈍化傾向にあるとの指摘もあるが、企業の求人意欲については3か月前と同様に高い状況にある。全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の前年同月比は増加傾向を続けており、求人者の募集意欲は衰えていないように感じている。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・登録者は極端に減少しており、正社員の求人案件を探す人が増加傾向にある。ただし、人材紹介及び人材派遣ともに求人数については横ばい状態で推移している。なお、全体としては、3か月前とほとんど変わらない状況にある。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数については、3か月前の状況とほとんど変わっていない。
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（役員）	求人数の動き	・1月の広告全体の売上については前年同月を上回っているが、求人広告の売上は5割下回っている状況下にある。